

※赤文字は、今年度、変更・追加事項です。

レース開催日

4月19日(日) 第1戦 m-tech杯

7月12日(日) 第2戦 J-TRIP杯

8月30日(日) 第2.5戦 のぐはる杯

M-GPクラス・SPクラス ※レース内容は別紙参照

10月18日(日) 第3戦 KTC杯

レース概要

主催 近畿スポーツランド

運営 KSLオフィシャルクラブ/大西塾/武蔵坊レーシング

協力 株式会社ディック ワディーデザイン

協賛 各社(別紙参照)

開催クラス

クラス	対象	参加制限 タイム
プレジャー	初心者～50.0秒まで対象 ※M-3クラスとの混走レース/別賞典	50.0秒
M-3*	ノーマル ミッション車両 49.9～47.5秒まで対象 ※プレジャークラスとの混走レース/別賞典	47.5秒
M-2*	ノーマル ミッション車両 47.4～45.5秒まで対象	45.5秒
M-1*	ノーマル ミッション車両 45.4～44.0秒まで対象	44.0秒
M-GP	ノーマル ミッション車両 (エキスパート)	-
NSF100HRC Trophy	NSF100ワンメイクレース	-
HRC GROM Cup アドバンス	HRCグロムワンメイクレース	-
HRC GROM Cup ルーキー*	HRCグロムワンメイクレース	45.5秒
CBR250R Dream Cup	CBR250Rワンメイクレース	-
FN4&FP	ノーマルスクーター 4スト・2スト準改造	-
SN50	ノーマルスクーター 50cc ※装備体重・選手技量によりレギュレーションが変動	-
74Daijro エキスパート ビギナー*	74Daijroワンメイクレース (エキスパート) 74Daijroワンメイクレース (ビギナー) ※エキスパートクラスとの混走レース/別賞典	- 50.0秒
SP	4スト・2スト準改造 ミッション車両	-
特別開催クラス		
R1開催 Kids (DRZ50・CRF50・PWなどのキッズバイク) ※中学生以下対象		
LM17Next* (ライトミドル・17インチ4スト125cc) ※ビギナー対象/43.0秒まで対象		
R2開催 Kids (DRZ50・CRF50・PWなどのキッズバイク) ※中学生以下対象		
PW選手権 (体重別グリットによるPWワンメイクレース)		

※*のクラスは参加制限タイムがあります。

(参加制限タイム以下で走行できる方は上位クラスに参加ください)

※M-GP・M-1・M-2・M-3の3つのクラスを「M系クラス」として表記しています。

参加料金

プレジャー・M-3クラス……… 近スポ会員 = 8,000円/ビジター = 9,000円

SN50クラス………近スポ会員・ビジター = 7,500円

その他のクラス……… 近スポ会員 = 8,500円/ビジター = 9,500円

参加料金の割引

●ダブルエントリー・トリプルエントリーは同時申込に限りエントリー代金総額から2,000円割引します。

※後から追加エントリーされる場合は、割引対象外です。ご注意ください。

●近畿地方(京都・滋賀・奈良・大阪・三重・和歌山・兵庫)以外から参加の方はエントリー代金総額から1,000円割引します。

保険 (KSLセーフティメンバー)

●出場する全ライダーは保険(KSLセーフティメンバー)加入を義務とします。

●エントリー時点で近畿スポーツランドライセンス会員の方は手続きは不要です。

※有効期限の短い方、切れた方は、エントリーまでにライセンスを更新してください。

●ビジターの方は、エントリー時に所定の手続きで保険加入してください。

●保険の有効期間は2026年4月～2027年3月末日までとなります。

参加資格

●原付免許を含む運転免許証の所持者で、近畿スポーツランド規則を熟知している方。

●近畿スポーツランド走行資格のある方(近畿スポーツランドビデオ講習受講者含む)。

●近畿スポーツランド、近畿スポーツランドが認めるサーキットライセンス所持者。

●未成年の場合は出場に関して親権者の同意がある方。

参加申し込み

●参加申し込みは、レース開催2か月前から開始します。

※用紙による申し込み及び参加費の現金による直接支払いはできません。

●近畿スポーツランド公式ホームページの専用エントリーフォームからお申し込みください。

ホームページ <http://www.kinspo.com/>

近スポ 🔍

お問合せ先 〒610-0251

京都府綴喜郡宇治田原町高尾栢尾10

近畿スポーツランド レース係

電話・Fax 0774-88-3633

メール kinki883633@gmail.com



参加受付

●各クラス先着25台までとします。包括開催の場合は、28台までとなります。

●CBR250R Dream Cupクラスは先着12台までとなります。

●開催クラスは、原則として単独開催レースとなります。

●エントリー台数が3台未満の場合は原則不成立となります。

※成立台数に達しない場合は、個別にご相談させていただきます。

●申し込み先着順に、ピット使用权・指定駐車エリアを選択することができます。

駐車場 (有料指定駐車区画)

●2026年度より、ピットを除く、駐車場の選択希望順エリア分けを廃止します。

●有料指定駐車枠

下記エリアごとの料金で駐車枠を完全指定できます。(土日2日間有効)

□ Aエリア (28台) 4,000円

□ Bエリア (39台) 3,000円

□ アスファルト舗装の丘の上第1駐車場エリア (30台) 2,000円

有料指定駐車枠を希望される方は近スポ事務所にて直接申込みください。

※レースエントリーが完了している方に限ります。

※申込み不備等がある方はキャンセルされる場合があります。

※本人以外の代理申込みも可能です。

申し込み締め切り

●申込締切はレース開催1週間前16時まで。

●各クラス定員になり次第、締め切りとします。

●エントリーをキャンセルされる場合は事務手数料(2,000円)を差引き返金いたします。ただし、エントリー受付締め切り後の返金は対応出来ません。

●エントリー受付後の各種変更手続きは1件につき事務手数料(1,000円)が必要となります。※変更内容によっては対応出来ない場合があります。

レース参加公式書類 (参加受理書等)

●郵送でのレース参加公式書類の発送はいたしません。

●レースの参加受理・ゼッケン等はレース開催1週間前に専用WEBページに順次アップロードされますので、専用WEBページでご確認ください。

●各種必要書類をレース当日までに印刷し、レース当日持参してください。

競技方法

スプリントレース

出走台数(25台)※CBR250R(12台)

- 参加台数により上位・同等クラスと混走となる場合があります。
- 包括開催の場合、出走台数は28台とします。

決勝レース周回数(6～15周)

- 決勝レースの周回数は、出走台数・天候等により6～15周とし、正式な周回数は、レース当日ライダーズミーティングで発表します。

予選(約7分間)

- 各クラス公式予選を行いベストラップ順にスターティンググリッドを決定します。
- 予選で一度にコースを走行する車両は25台までとします。
(包括開催の場合28台)
- 予選不参加または予選タイム計測不能の場合は最後尾グリッドとなります。それが複数台の場合はゼッケン順にグリッドを決定します。
- ※極端なスロー走行をしてコース上で他のライダーを待つ行為は、非常に迷惑かつ危険な行為のため、ペナルティ対象とします。

スタート方式(シグナルまたは日章旗)

- ビットロードからコースインし、サイティングラップ～予選結果によるスターティンググリッドに各車整列～選手紹介～ウォーミングアップラップ～再び全車がグリッドに整列後、シグナルまたは日章旗によりスタートとなります。
- ビットロードオープン時間は最大2分間とします。
- ビットロードクローズからウォームアップラップ開始まではグリッドに競技車両の押入れは可能としますが、ウォームアップラップの進行が開始された場合はピットスタートとなります。
- ※参加台数やトラブル等により変更されることがあります。

[シグナルスタート]

レッドライト点灯状態から、全ライトが消灯した瞬間をスタートします。

[日章旗スタート]

オフィシャルが日章旗を掲げ、旗が振られた瞬間をスタートとします。

ゴール

- 先頭車両が規定の周回数を走行し、コントロールラインを通過した時点でチェッカー(ゴール)となります。
- 周回遅れの車両は、規定周回数走行していなくてもチェッカーを受けたら徐々にスローダウンし、必ずピットインしてください。ダブルチェッカーは失格となる場合があります。

車検／車両保管／再車検

レース前の車検は、主として車両の安全性をチェックするものであり、各クラス別の車両規則違反を確認するものではありません。
エンジンその他のメンテナンスは、各車両のサービスマニュアルに記載されている整備によるもの以外は禁止します。

車検の手順

- 全ての参加車両は、所定の時間内に車検を受けてください。
- 失格・改善の指摘等の場合は、車検長の判断に速やかに従ってください。
- 車検合格の車両には合格のステッカーまたは印がされますので、大会終了まではこれを除去しないでください。
- 車載カメラを使用したい方は必ずカメラ装着状態で車検を受けてください。
※車検後のカメラの装着は認めません。ご注意ください。
- ※カメラ落下防止のワイヤーリングを強く推奨します。走行中カメラを落下させた場合はペナルティの対象となります。

レース終了後の車両保管

- 上位車両は競技終了後車両保管となります。競技終了後、ピットに戻らず指定車検場に速やかに移動してください。(特に問題がない場合、競技長の判断で車両保管されない場合があります)
- 車両保管解除までは車両の移動を制限します。

再車検

- 再車検での分解等は車検長の指示に異議なく従ってください。
- 再車検時の部品測定値はサービスマニュアルの基準値とし、純正部品であっても基準値を超えるものは違反とします。
- 再車検は原則、参加者側が車検長の指示に従って分解し、再車検により生じる部品の汚損、破損、調整の変化等は参加者の負担とします。
- 再車検において、車検長がレース当日中に、車両保管を解除することができないと判断した場合、当該車両または部品を預かり、検査終了後速やかに返却するものとします。また、参加者はこれを拒否することはできません。
- 再車検での分解等の指示に従わない場合は、レース失格となる場合があります。

参加制限タイム

- プレジャークラス、M-3クラス、M-2クラス、M-1クラス、GROM Cupルーキークラス、74Daijroビギナークラス、LM17Nextクラスはライダーの技量により参加制限タイムを設けます。

■プレジャークラス……………50.0秒	■M-3クラス……………47.5秒
■GROM Cupルーキークラス…45.5秒	■M-2クラス……………45.5秒
■74Daijroビギナークラス…50.0秒	■M-1クラス……………44.0秒
■LM17Nextクラス……………43.0秒	

- 予選で上記参加制限タイムより0.2秒以上速いタイムを記録した場合は決勝は上位クラスへ自動昇格となります。
- ※クラス分けおよび参加制限タイムは、全ての参加ライダーが全力でレースができる事を目的として設定しています。上位クラスに出走できるレベルにありながら、下位クラスの基準タイム内で調整しながら走るといった事のないよう、スポーツマンシップに則った適正なクラス選択をお願いします。
- ※予選で記録したタイムは、そのまま上位クラスでの予選タイムとし、タイム順のグリッドとなります。
- ※上位クラスの予選が、ウェット等で路面コンディションが異なる場合、上位クラス最後尾のグリッドとします。
- ※上位クラスの出走台数が28台(チャレンジルール3台を含む)を超える場合は、従来のクラスの決勝レース出走とし、決勝ゴールタイムに4秒～7秒のタイム加算のタイム加算を課すこととします。
- ※クラス昇格することにより元のクラスが不成立になる場合、もしくは上位クラスが無い場合は、当初のクラスでの決勝とし、決勝ゴールタイムに4秒～7秒のタイム加算とします。
- 決勝で参加制限タイムより0.2秒以上速いタイムを1回でも記録した場合、失格となります。また、制限タイムを2回以上切った場合、**決勝ゴールタイムに3秒のタイム加算**になります。

M-3クラス、M-2クラス、M-1クラスのチャレンジルール

- M-3クラス、M-2クラス、M1クラスの決勝レース1～3位の3台は、上位クラスの決勝レースに出場できます。上位クラスでのスターティンググリッドは最後尾より、リザルト順のグリッドとなります。

タイム制限クラスの出場クラスの変更 ※プレジャークラスは除く (M-3、M-2、M-1、GROM Cupルーキー、74Daijroビギナークラス)

- 予選結果発表の掲示後15分間クラス変更を受け付けます。
- クラス変更の場合、予選順位は上位クラスの最後尾となります。
- 変更先のクラスが定員に達している場合は受付できない場合があります。
- 下位クラスへの変更は原則として認めません。
- レース開催日以前のクラス変更は、エントリー受付期間中は可能とし、エントリー締め切り後のクラス変更はできません。(レース当日予選終了後の上位クラスへの変更は可能です)

ゼッケン

- 専用WEBページで指定されたゼッケンを、フロントカウル、シートカウルの両サイドの見やすい部分にアラビア数字で遠くからでも確実に認識できるように表示してください。
- ※ゼッケン・ゼッケンベース等の色は指定しません。
- ※シートカウルの面積が狭い場合、シートカウル中央に1箇所でも可とします。ただし、その場合はサイドカウル(アンダーカウル)の2箇所に表示してください。
- ※ゼッケンは、市販品やカッティングシートが望ましい。
- ※車検後、実走にて視認しづらい場合、ゼッケンの貼り替えをお願いすることがあります。
- 年間チャンピオンシップクラスは年間固定ゼッケンとなります。
- ※ゼッケンは年度初戦時に決定します。M系クラスとダブルエントリーの場合、M系クラスのゼッケンを優先します。シーズン途中でM系クラスとダブルエントリーする場合、M系クラスは違うゼッケンに振分けとなる場合があります。
- ※チャンピオンシップ以外のクラスは毎戦ごとにゼッケンを決定します。
- ダブルエントリーで、同一車両でゼッケンが変わる場合は、シートカウル及びサイドカウルのゼッケン表示は免除します。フロントゼッケンは貼り替えをお願いします。

ライダーの装備

- ヘルメットはJIS規格C種以上またはMFJ公認、スネル規格のフルフェイスシート付きに限りです。
※オフロード用のヘルメットの使用は禁止します。
- レーシングスーツ、レーシングブーツ、レーシンググローブ(手首まで隠れるもの)
- 脊椎パッド(プロテクター)を必ず装着してください。
- 胸部プロテクター(チェストガード)、ヘルメットリムーバー、ネックガードを強く推奨します。
- 毎レースライダー装備品検査を行います。著しい傷のあるヘルメット、穴が開いているツナギ等は、検査に合格しません。事前に買い替えや修理をおこなってください。

タイヤウォーマー

- タイヤウォーマーの使用を認めます。
- タイヤウォーマーを使用する場合は、各エントラント自ら用意した発電機により電力を確保してください。サーキットの電源は一切ご利用いただけません。
- 原則、各自の駐車エリアでのみ使用を許可します。
ウェイティングエリア・グリッドでの使用は、余熱巻きも含め禁止とします。

競技中規則

- ①ピットロードは人も往来している場合があるので必ず徐行すること。
- ②本コースにコースインするときは、本コースに後続のマシンがない、もしくは十分な距離があることを確認し、必ず手でコースインの合図をすること。(本コースが絶対優先)
- ③本コースにコースイン後、ホワイトライン終了地点までアウト側を走行すること。
- ④本コース直線上の黄線左側は進入禁止区域とする。危険回避以外で進入しないこと。
- ⑤本コース直線上での急な進路変更、蛇行走行、幅寄せ、前走者の直後に着く等の行為は厳禁とする。非常に危険です。
- ⑥プッシング・ブロックング・非スポーツマン行為等の危険行為、妨害行為をしてはならない。ラフプレーの危険度、内容、程度、それにともなう結果については、コースオフィシャル、ライダー(当事者)の意見を総合的に判断して競技長が最終的に判断する。(危険行為、妨害行為に対する判定の抗議は一切受け付けない)
- ⑦最終コーナーで転倒・停止した場合は、本コースへの復帰は禁止する。オフィシャルの指示に従い、必ずピットロードに避難すること。
- ⑧コース上で転倒した場合、後続車との衝突を避けるため、すぐ動かないこと。後方確認後、コース外の安全な場所へ避難すること。
- ⑨マシントラブル等で停止する場合は、コース上に停車しないで、コース外の安全な場所に停車すること。
- ⑩競技中はオフィシャルが掲示するフラッグ(旗)の意味に必ず従うこと。
- ⑪予選・決勝中、コースをショートカット、バイパス走行をしてはならない。
- ⑫走行中いかなる場合もコースを逆走してはならない。(オフィシャルの指示の場合を除く)
- ⑬走行中いかなる場合もコースを横断してはならない。(オフィシャルの指示の場合を除く)

ライダーズミーティング

- 参加者は必ずライダーズミーティングに参加すること。
ライダーズミーティングに不参加の場合、レースに出場することはできません。

競技の中断

- 競技中の重大な事故、著しい気象条件の変化により競技を中断する場合は、コントロールタワー前及び指定ポストで赤旗を掲示する。各ライダーは細心の注意をし、スローダウンしてピットインし、全車ピットロードに待機すること。
- 赤旗中断・再レースになった場合、当該レース(赤旗時)をトラブル等によりスタートできなかった選手の再レースの際は最後尾グリッドからのスタートとする。

競技の成立

- 赤旗等の場合、競技の3分の2を終了していれば競技成立となる場合がある。何らかの事情で、決勝レースが行えない場合、予選結果をもって最終結果とすることがある。その場合、如何なる理由であっても、抗議や参加料の返還請求は受け付けない。

罰 則

- 警告→タイム加算→順位降格→失格→出場停止→退場処分→今後一切の近畿スポーツランド入場停止等。

賞 典

賞典授与基準(◎)

参加台数	1～4台	5～8台	9～12台	13～16台	17～20台	21台以上
順位	優勝	◎	◎	◎	◎	◎
～2位	×	◎	◎	◎	◎	◎
～3位	×	×	◎	◎	◎	◎
～4位	×	×	×	◎	◎	◎
～5位	×	×	×	×	◎	◎
～6位	×	×	×	×	×	◎

特別賞

- 順位とは関係なく、健闘した選手や盛り上げてくれた選手などに、特別賞が授与される場合があります。

シリーズ表彰及び年間ランキング獲得ポイント

FN4&FPクラス・M-GPクラス・NSF100 HRC Trophy・HRC GROM Cup
アドバンスクラス・74Daijroエキスパートクラス・SPクラスは、全3戦の参加台数が合計45台以上あった場合は3位まで、合計30台以上の場合は2位まで、合計29台以下の場合は1位のみ、獲得ポイントの合計により年間ランキングを決定し、シリーズ総合チャンピオンとして表彰します。

CBR250R Dream Cupクラスは、全3戦の参加台数が合計20台以上あった場合は3位まで、合計15台以上の場合は2位まで、合計14台以下の場合は1位のみとなります。

※2位以下には副賞を授与します。

※全3戦の参加台数が合計14台以下(CBRクラスは7台以下)の場合は、チャンピオンシップ不成立となり年間表彰はありません。

※不成立等で参加台数が少ないクラスは、翌年のシリーズ戦は特別開催とする場合があります。

年間ランキング獲得ポイント

1 位 20ポイント	2 位 17ポイント	3 位 15ポイント	4 位 13ポイント
5 位 11ポイント	6 位 10ポイント	7 位 9ポイント	8 位 8ポイント
9 位 7ポイント	10位 6ポイント	11位 5ポイント	12位 4ポイント
13位 3ポイント	14位 2ポイント	15位 1ポイント	

※上記ポイントの他にボーナスポイントが加算される場合があります。

年間ランキングの同ポイント時の順位基準

上位順位獲得回数→最終戦の決勝順位→最終戦の予選順位→第2戦の決勝順位→第1戦の決勝順位

※上位順位獲得回数に0ポイント時の順位は含まない。

全クラス共通車両規則

1. 保安部品、ミラー、スタンド、ナンバープレートは取り外すこと。
ライト、ウィンカー、テールランプは取り外すか、テーピングで飛散防止すること。
 2. エンジン・ミッション・ブレーキオイル及び冷却水等油脂類は変更可。
 3. ラジエーターに不凍液が入っている場合は水に取り替えること。
 4. ラジエーター装着車は、容量100cc以上のリザーバータンクまたはキャッチタンクを取り付けること。サーモスタットは取り外し可。
 5. キャブレターホース類に容量100cc以上の耐油性のある透明または半透明の燃料キャッチタンクを取り付けること。
 6. 4スト車両はオイルキャッチタンクを必ず取り付けること。
※ただし、エアクリーナーボックスがオイルキャッチタンクの機能を兼ねている車両はその限りではない。
※ブリーザーホースは大気解放せずキャブ吸入口の一番低い個所の水平線よりも上部に取り付けること。
 7. 燃料キャッチタンク・オイルキャッチタンクは必ず空にしておくこと。
 8. 4スト車両は、全オイル量が受けられる容量のアンダーカウルの装着を義務付ける(スクーターは除く)。
 9. 各部品が溶接またはボルト・ナット等で、確実に正しく取り付けられていること。
 10. オイルフィルターキャップ、オイルドレンボルト、オイルフィルター(スピオン式)にはステンレスワイヤーを用い、ネジの締まる方向に引っぱり、フレーム等に固定し、ワイヤーロックを施すこと。
 11. パイプ、ホース類はクリップ止め等の簡易なものは確実に外れない方式に交換すること。
また使用するホースは、耐熱・耐油性を満たした物で、漏れないように確実に固定する。
 12. 前後各ホイールに効果的なブレーキがなくてはならない。
 13. 著しく尖った部分や鋭利な部分がないこと。レバー、ステップ、ペダル、ハンドルの先端は丸みを帯びた形状であること。
 14. ハンドルのバーエンドキャップは必ず取り付け(ジュラコン製が望ましい)。
 15. ハンドルは、左右一杯に切った状態で、ライダーの指を挟むことがない程度の隙間があること。
 16. 走行中に路面等に接触するステップ、突起物等は取り除くか、加工(切断、研磨)等すること。
 17. ミッション車はスイングアーム下側にリアスプロケットガードを必ず取り付け。
 18. チェーンカバーは材質・形状の変更可。
チェーン駆動車はフロント、リアスプロケットの両方にチェーンカバーを装着すること。
※ただし、リアフェンダーがチェーンカバーの機能を完全に満たしている場合に限り取り外し可。
 19. 安全上問題のないカウル類の変更・取り外し可。それに伴う不要ステー類の切除も可。
FN車両は市販時のシルエットを保っていれば変更可。
※ただし、各部分が危険な形状にならないこと。
 20. 排気音の極端に大きいものは不可(主催者判断)。
 21. スロットルワイヤー変更可。
※ただし、SN50/FN4クラスはスロットル変更不可(ハイスロ不可)。
 22. セルモーターの取り外し可。
 23. オーバーサイズピストンの使用は不可。
 24. シリンダーヘッド・ガスケット等は同年式の組み合わせ以外は変更不可。
 25. ホイルカラーの変更及びダストシール・メーターギアの取り外し可。
 26. 同一形式以外でのエンジン・フレームの交換は不可。
※ただし、NSR mini⇄NSR50、NS50R⇄NS50Fは可。
 27. 燃料は無鉛ガソリンとし、通常のガソリンスタンドで購入できるものに限る。その他一切の燃料添加剤・添加物の使用は禁止。
 28. タイヤは一般公道用に市販されており通常ルートで購入出来るものに限る。
尚、一般参加者が入手困難なテスト品を含むプロトタイプタイヤ等を使用したものは使用させた者も含め、厳重に処罰する。(尚、上記見解は主催者側の主観的判断による。)
 29. タイヤウォーマーの使用は可。
※ただし、サーキットの電源の使用禁止。安全に整備された発電機を使用すること。
 30. プレジャークラス、M-3クラス、M-2クラス、M-1クラス、74Daijroビギナークラス、GROM Cupルーキークラス、LM17Nextクラスはラップタイム自動計測器やストップウォッチ等、決勝中のタイム表示機能機器の使用は不可。
 31. メーカー純正部品の廃番により、同メーカー他車種の純正部品を無加工で装着出来、且つ性能向上にならない純正部品の流用は可。
 32. メーカー純正部品の廃番による社外部品の純正補修パーツの装着は無加工で取付け出来、性能向上にならないパーツの使用は可。ただし、必ず事前に使用パーツを申告すること。
※ブレーキ関連パーツ(キャリパー・マスターシリンダー・ディスク)の社外部品の使用は原則認めない。
- その他、車検長が、危険または著しく不公正と判断した車両は、出走停止・不合格・改善指示の判断をする。その決定に対して、異議を申し立てすることは認められない。

特別開催クラスについて

参加者側からの要望等により、規定以外のクラスが開催される場合、レギュレーションはそのクラスのもっとも一般的な車両規則に基づき開催するものとします。また、最低開催台数は7台以上となります。

車両規則に該当しない車両について

パーツの廃盤、入手困難等の事情により、近畿スポーツランドロードレースシリーズの車両規則に該当しない車両でも、総合的に判断し、該当クラスの車両と比較し、優位性がなく、かつ安全性に問題ない場合は参加を認める場合があります。最終的に車検長と主催者が、参加可能か不可、賞典外等を判断しますので、エントリーの前にご相談ください。事前に出場許可を得ることが出来ない場合は受付出来ません。

タイヤに関する追加規定

主催者が特に必要と判断した場合、レースで使用したタイヤを没収することがあります。該当参加者はこれを拒むことは出来ません。また、主催者側の依頼する第三者検査機関にて成分検査等を行うため、タイヤの返却は出来ません。

※該当タイヤの所有権は主催者に移るものとします。

上記検査結果を踏まえ規則違反は主催者が判断するものとし、参加者側やその他の者の抗議は一切認めない。尚、検査結果は公に発表される場合がある。

検査により流通品と異なり、規定違反が判明した場合

該当参加者は失格となります。また、該当参加者は主催者の請求する諸経費を含む検査費用全額を遅滞なく支払うこととします。

※検査の程度は主催者の判断によります。

車両レギュレーションの変更

■交換可能な社外パーツに関する追加規定

各メーカーやショップ等から販売され、誰もが購入可能なパーツのみ、原則レースで使用を認めます。

発売前の試作品、プロトタイプ等は、原則レースでの使用は禁止としますが、それらのパーツをレースで使用する場合、事前に主催関係者に申告を行い、主催者が使用を認めた場合のみレースでの使用を許可します。

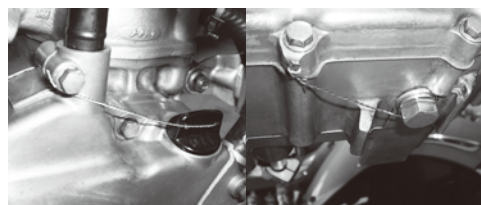
ただし、使用を認めた場合でも、レースにおいて明らかな性能差があった場合は、主催関係者の競技の上、ペナルティー等の裁定が下される場合があります。尚、正式決定した内容に対する抗議は一切受け付けません。

※レース直前に販売開始されたパーツも上記と同様とします。

※個人で作成したマシン性能に関わる部品の使用も同様とします。自作部品については、他の参加者がそのパーツを購入を希望された場合には、主催者の提案する適正価格にて速やかに販売できることとします。

クラス別車両規定について

車両の多様化に伴い、シーズン途中でのレギュレーション変更を行う場合があります。



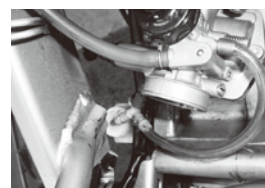
ワイヤーロック



リアスプロケットガード



燃料キャッチタンク



燃料キャッチタンクのパイピング

クラス別車両規則

M-3クラス M-2クラス M-1クラス M-GPクラス (M系クラス) 共通

参加可能車両

- 2スト排気量50cc未満のミッション付車両
(KSR80は可)
- 4スト排気量100cc未満のミッション付車両
(GROM※HRC車両含む・モンキー・DAX・Z125pro・KSR110等は可)
- ホイール径12インチ以上
(各車両市販時の純正サイズを使用)

特別車両規則「GROM5車両」について

F・Rサスペンション、タイヤ、カウル、シート、スプロケット、チェーンサイズ、ゼッケンは、M系クラスの車両規則となります。上記以外は、HRC GROM cupの車両規則となります。ただし、マフラーの音量規定は除く。

■エンジン関係

- ✕改造・変更・研磨一切不可。ノーマルとする。
- サービスマニュアルに記載されているエンジン整備は可。
※4スト車両のバルブのすり合わせやシートカット等。
- メインキーはキルスイッチがあれば取り外し可。
- キャブレター・ジェット類・スパークプラグ・プラグキャップ・プラグコード変更可。
- ✕イグニッションコイルは変更不可。
※ただし、NSF100を除く4スト車両は変更可。
- エアファンネル等の取り付けは可。
- リミッターカット及びCDIユニット及び電装ハーネス変更可。
- ✕内圧コントローラーの取り付けは不可。
- クラッチスプリングの変更可。
- クラッチプレート及びフリクションディスクの枚数変更可。
それに伴うクラッチセンターの純正部品の流用可。
- クラッチハウジングの段付き修正のみ、やすりがけの処理は可。
- キックペダル及び関連部品の取り外し可。
- インジェクション車両のECUの変更可(サブコン・フルコン可)。メーカー純正標準装備以外のオートシフターの使用は不可。

○純正キャブレターの廃盤車両は、純正同等の性能を保持し、無加工で取り付けられる社外部品への変更は可。ただし、純正の性能を上回る社外部品や純正のベンチュリー口径を上回る社外部品への交換は不可。

○ハイスロ使用に伴う純正(22パイ)キャブレター・トップキャップの変更可。

○XR100M、APE100/100D、NSF100のエンジンパーツの互換性を認める。

■チャンバー・マフラー

- ✕2スト車両は変更不可。
※ただし、同一メーカー同排気量で、無加工で装着できる物は可。
- ✕NSF100はマフラーの変更不可。
- NSF100以外の4スト車両はマフラーの変更可。
- チャンバー・マフラーの補修補強可。
※ただし、性能に影響する改造は一切認めない。

■ショック・スプリング

- リヤサス変更可。アダプターの追加可。
※ただし、数量、取付位置の変更・改造は不可。
- ✕フロントサスペンション変更不可。
※ただし、ダストシールの取り外し、オイル・油面・インナーパーツ・ニシャルアジャスターの変更・改造及びスタビライザーの装着可。
※GROMはカートリッジへの変更可。
- ステアリングダンパーの装着可。
- リアサス保護を目的とした遮熱板及び最小限のバンテージの装着可。

■タイヤ

- タイヤは一般公道用に市販されていて通常ルートで購入できる物に限る。
※12インチは市販レインタイヤ使用可。
※ミニモト専用タイヤは使用可。
※ダンロップKR410の使用可。
- ✕スリック・インターミディエイト・レーシンググレインは禁止。
※ただし、17インチ車両はレーシンググレイン使用可。

■ブレーキ関係・フレーム・外装

- ホース、バンジョーボルト、パッド、シュー、ワイヤー、オイル、レバー、リヤブレーキタンクレスキットへの変更可。
- パストスプリングの取外しは可。
- キャリパーガード、マスターシリンダーガードの取付け可。
- ✕フレームの変更不可。
- クラックや破損等による溶接等の補修は可。
※ただし、性能向上になる溶接等は一切認めない。
- 純正カウル以外を取り付けるための最低限の切削・加工可。
- 前後スプロケット、チェーン(サイズ)、ハンドル、ステップ、トップブリッジ、カウル・シート類の材質・形状変更可。
- メーター類取り外し・変更可。
- その他
- オイルポンプ取り外し可(2スト車両)。
- バッテリーの変更、取り外し可。
- エアクリーナーボックス・エレメントの変更・取り外し可。
※ラムエアBoxの使用は不可。
※4スト車両は取り外しを行う場合、必ずオイルキャッチタンクを取りつけブリーザーホースは大気解放せず、キャブ吸入口の一番低い個所の水平線よりも上部に取り付けること。

- チャージコイルの変更・取り外し可。
- NSR50/mini、NSF100のエンジン関連パーツ以外の互換性を認める。
- XR100M、APE100/100Dの互換性を認める。
- DAX125・KSR110はマニュアルクラッチへの変更可。
- KSR110に限り純正と同サイズの前後ホイールの変更を認める。
- エンジン冷却のためのダクトや整流板、ラジエーターカバーの追加変更可。
- Lケースカバーの熱対策の為のワッシャー・カラーの追加は可。
※ただし、5mm以内とする。
- ✕ガソリンタンクの変更・改造は不可。
※ただしタンクカバーの使用及び給油口の改造変更は可。
- ラジエーターの変更・改造可。
※ただし、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることがある。

特別仕様車両

- Ape100・XR100MにCRF100純正マフラーまたは社外マフラーを使用の車両は、ホンダ純正PD22キャブレター(NSF100またはCRF100)の使用及びCRF100純正インテークマニホールドの使用を認めます。
※ただし、社外マフラー使用車両はキャブレターとインテークマニホールドの間にφ20以下のリストリクターを装着すること。
※材質は自由とし、厚さ2mm以下とする。
※シーズン途中での変更の可能性あり。

SPクラス

参加可能車両

- 2スト50cc未満 4スト100cc未満
ホイール径17インチ以下のミッション車両
(グロム・Z125は参加可)
NSR50/mini、NS50F/R、NSF100、Ape100、XR100M、GROM等

■チャンバー・マフラー関係

- チャンバー・マフラーの変更可。

2st車両

上記項目以外はM系クラス車両規則に準じます。

4st車両

エンジンはミッション付き4ストローク100cc、メーカー出荷時のノーマル状態とする(クラッチ系・ミッション系部品含む)

■エンジン関係

- エンジンのあたり取りは可。
- ✕追加のホーニング処理やヤスリやリユーターを使用することとは厳禁とする。
- キャブレターの変更可。
- マニホールドの改造・変更可。ジェット・ニードル・スロットルバルブの改造・変更可。
- キャブレター口径22φ以下の使用車両に限りハイカムの使用可。ただし、カムホルダー・ロッカーアーム等ヘッド周りのパーツを無加工で取付けられる事。バルブタイミング調整を目的としたカムスプロケットの最小限の長穴加工も可。
- PD22チョークバルブの取外し可。その際の取付け穴の閉止処理は可。
- インジェクション車両のハイカムへの変更は可。

※ただし、GROM5(JC92)車両は、SP武川製スポーツカムシャフトN-10(品番01-08-0190)・KITACO製ハイカムシャフト(品番300-1452000)・CLIPPING POINT製(品番jc9211st1cam・jc9212st1cam)のみ使用を認める。

※上記以外でJC92用に製作され、ノーマルシリンダーヘッドに適合するストリート向けのハイカムを使用したい場合は、メーカー・品番・入手経路・メーカーが公表しているカムプロフィール等を添付申請をし、主催者の承諾を得たもののみ使用を認める。ただし、レース開催日の1か月前までに申請を済ませておくこと。

※車両の多様化に伴う性能調整のため、シーズン途中での変更の可能性あり。

※ヘッド内周りのパーツを無加工で取り付けられる事に限る。

○イグニッションコイル・スパークプラグ・プラグコード・プラグキャップの改造・変更可

○フライホイールの改造・変更可。ただし加工する際は耐久性を損なわないこと。

○オイルクーラーの取付け可。それに伴うヘッドカバー・クラッチケースカバーの改造・変更可。

○オイルポンプの改造・変更、オイル通路の拡張・閉止加工可。

○クランクケース内圧コントロールバルブの取付け可。

○Lケースカバーの改造・変更可。

○クラッチセンター(クラッチボス)の改造・変更可。

○NSF100・XR100M/R・エイブ100(タイプD)CRF100に關しては、純正部品の流用を可とする。但し、XR100RシリンダーASSY(12100-436-000)の使用は不可。

■フレーム関係

✕アルミフレーム・オリジナルフレームは禁止する。

○2スト車両のフレームに4スト100ccエンジンをスワップする際のエンジンハンガーの使用・追加のステーは可。

上記項目以外はM系クラスの車両規則に準じます。

※「特別車両規則GROM5車両について」は除外する。

SPクラス特別規則

主催者が認める他のミニバイク選手権の同等クラス(SP仕様)での参加を原則認めます。事前に主催者に必ずお知らせください。

FN-4クラス

参加可能車両

4スト排気量125cc未満の
ホイール径10インチスクーター

- ※2バルブ125cc未満・4バルブ115cc未満は無条件で参戦可。
- ※4バルブ125cc未満の車両については、車両戦闘力の均衡を図る為の措置を適宜主催者判断で請じ、それに従うこと。
- ※14インチ車両のアドレス110・Dio110は参加可。
- ※前後異径ホイール(前12インチ後10インチ)は参加可。
- ※国内で通常ルートで販売されていること。

- 灯火類の取り外し可。
- メーター類の取り外し、取り付け可。
※ただし、aim・バーカル等のマルチメーターは不可。
- メーターワイヤー取り外し可。
- メーターギア取り外し可。
- メッシュホース(Fブレーキホース)の取り付け可。
- 油脂類(ブレーキフルード・エンジンオイル・フォークオイル・各部塗布グリス)の交換・変更可。
- 路面接触の緩和、ライダー体格差補正のための車高調整用アダプタ追加可。及び突き出し量変更のステム小加工は可。
- 路面保護、安全性確保のための車体路面接触部分の最小限の切削可。ただし、指定部分のみ。〔開催途中の変更あり〕
※走行性能に関わる可能性のあるマフラーの切削加工は不可。
※安全性に問題がある(強度低下等)と思われる切削加工は不可。
- タイヤ変更可。(純正サイズ変更も認める)
- ×**レインタイヤの使用は禁止。**
- ウエイトローラー変更可。
- シムワッシャーの追加、変更可。
- リアサスペンション変更可。
- ×**リアショックの取り付け位置・取り付け形状の変更・仕様変更は不可。**
- バーエンド、グリップの追加・変更可。
- ブレーキレバーの変更可。ただし、無加工の物に限る。
- ブレーキパッド交換可。
- コンビネーションブレーキシステムの解消を目的としたホースやワイヤーの追加変更(社外品を含める)を認める。
- カバー類の追加・変更可。(ライトカバー追加、社外カウルへの変更等)
- プラグの変更可。
- ×**限定仕様車の走行性能に関わるパーツは、原則使用禁止。**
- ×**バルブすり合わせ、バルブシートカット、クリアランス調整については、基本メンテナンス範囲(サービスマニュアル記載内容)以外の方法(シートカットの角度変更等)は不可。**
また、規定値を超える状態への設定、加工は失格となる。
その他の研磨、アタリ取りはすべて不可。
- ×**「別フレーム型式」間の流用は同一車種であっても基本的に認めない。**
- 「同一車種間」の足回り・マフラー・駆動系・外装に関して無加工で取付出来る純正パーツの流用を認める。
〈上記2点の補足〉
例：アドレスV125/V125Gに関して「同一車種間」(K5、K6、K7、K9、L0)による足回り・マフラー・駆動系・外装に関して無加工で取付出来る純正パーツの流用を認めるが、フレーム番号CF46A-**** (K5・K6・K7)とCF4EA-**** (K9・L0)は、「別フレーム型式」となり、「同一車種間」で認めた以外の流用は認めない(エンジン部品、電装等の流用は不可)。
- 足回り：**ステム、フォーク、ブレーキ、ホイール、その他ボルト、ナット、シャフト、ワイヤー、ホース、カラー、従属品一式
- 駆動系：**プーリー、フェイス、ボス、ランププレート、スライドピース、ベルト、クラッチユニット、ギア、固定用ナット
- O2センサーの取り外しに伴うO2センサー穴のメクラ及びO2センサーキャンセルのためのパーツの取付けを認める。

FPクラス

参加可能車両

2スト排気量50cc未満・
ホイール径10インチスクーター

- ※12インチ車両のZZ・ストリートマジック50は参加可。

■エンジン関係

メインキーでエンジンが始動・停止できること。

○純正ピストンへの切削加工を認める。

ただし、加工はファースtring溝より上部のピストン上面のみ可とし、その他箇所への加工は不可とする。また、加工はリング溝にはかからないこと。
※溶接、肉盛り、部品追加、ピストン裏面への追加の加工は不可。

■その他

- 油脂、グリスの変更・交換可。
- ×**レインタイヤの使用は禁止。**
- シートスポンジ加工可。シート地の張替え可。
- バッテリーの取り外し可。
- クーリングファンの流用可。
- マフラーの変更可。
- 駆動系の改造・変更可。
- スターター関連部品の取り外し変更可。
(クランクシャフト・リアホイール改造変更不可)
- オイルポンプの改造・変更・取り外し可。
- フロントフォークの改造変更可。
- チャージコイルの改造変更及び取り外し可。
- エアクリーナーボックス・エレメントの改造、変更、取り外し可。
- ファンネルは無加工で取り付けられるものは可。
- 上記条項以外はM系クラスの車両規則に準じます。**
※純正部品廃盤対応について、性能向上がない他車種同等部品への変更・補修部品への変更を認める。但し、変更箇所については、状況変化がある為、必ず主催確認を行うこと。

SN50クラス

参加可能車両

2スト/4スト50cc未満10インチスクーター

- 2ストまたは4ストスクーター50cc車両によるレース。
ライダー装備込体重(ライダー装備品+体重)や車両馬力(ps)によりレギュレーションが変わります。
- レギュレーションは別紙参照**
ご質問等詳しくは近畿スポーツランドにメールでお問い合わせください。

プレジャークラス

参加可能車両

2スト排気量80cc未満のノーマルエンジン、
ミッション付車両及びスクーター
4スト排気量125cc未満のノーマルエンジン、
ミッション付車両及びスクーター

- ※ただし、OPクラス・S80・キッズ・74車両での参加は不可。
- ※上記基準に合致しない車両でも性能的に有利にならない車両であると主催者が認める場合は参加可。
- チャンバー・マフラーの変更可。
- 上記条項以外はM系クラス規則に準じます。**

HRC GROM CUP

アドバンスクラス／ルーキークラス

参加可能車両

GROM
市販車、及びHRCレースベース車限定。
※2016年以降の主催者が認める車輛。

2026年度HRC GROM cup規則に準じます。

詳しくはHRCホームページを参照してください。
<http://www.honda.co.jp/HRC/event/hrcgromcup/>

CBR250R Dream Cup

参加可能車両

CBR250R

2026年度CBR250R Dream Cup規則に準じます。

詳しくはHRCホームページを参照してください。
<http://www.honda.co.jp/HRC/event/cbr250rdreamcup/>

74Daijiri

エキスパートクラス／ビギナークラス

参加可能車両

74Daijiri

2026年Daijiri-Cup規則に準じます。

詳しくは74daijiri.netホームページを参照してください。
<http://www.74daijiri.net/daijiri-cup/>

LM17Nextクラス (R1特別開催)

参加可能車両

●4スト125cc未満17インチのミッション車両
GSX-R125・CBR125R・YZF-R125・
GSX-S125・RS4・DUKE125/RC125等

- ECUセッティングに関するサブコン(燃料調整・レプリミット・点火時期等の調整可能な機能)の使用は可。
※純正ECUの書換え及びフルコンの使用は不可。
- フロントマスターシリンダーの変更可。
※ただし、ピストン径は9/16(14.3mm)以下とする。
- フロントディスクローターの変更は可。
- リアサスペンションの変更可。それに伴うアダプターの使用やリンク及びリンクベアリングの改造・変更も可。また、ストロークセンサーの追加も可。
- ラジエーターの変更・改造可。
- ×スロットルボディ本体の改造・変更は一切不可。
- マフラーの変更可。
- ホイールの変更は可。
ただし、その場合スリックタイヤの使用は不可。
- タイヤは、エンドユーザーの誰しもが購入可能なレース専用タイヤを含めたタイヤの使用は可。
※グルーピング及びカッティングは不可。
- スリックタイヤの使用は可。
※シーズン途中での変更の可能性あり。

- ×特定のライダーのみが使用できるテスト品を含むプロトタイプタイヤの使用は禁止。
- クラッチスプリング・フリクションディスク・クラッチプレート
の改造・変更可。
- 燃料ポンプの改造・変更可。
- 戦力バランスを考慮し、apriliaRS4のみ150ccまでのボアアップを認める。
- スピードセンサーのキャンセルを目的とするキットパーツ
またはサブコン調整は可。
- ABS機構キャンセルを目的とした部品の取外し処理は可。
転倒時に地面と接触をする恐れのある、クランクケース及び
エンジンカバーに厚さ2mm以上の樹脂製(FRP・カーボン等)
の2次カバーを強固に取り付けること。ただし、カウルが2次
カバーの役割を完全に満たしている場合は免除となる。

上記条項以外はM系クラスの車両規則に準じます。

※シーズン途中で規則の追加変更を行う場合があります。
(参考:桶川スポーツランド様)

KIDSクラス (R1・R2特別開催)

参加可能車両

2スト・排気量50cc未満(PW50・QR50等)
4スト・排気量50cc未満(CRF50・DRZ50・XR50等)
ホイール径10インチの車両

- ★タイヤはロード用タイヤに変更すること。
- ×2スト車両の減速比(スプロケット、ファイナル等)変更不可。
- 4スト車両の減速比(スプロケット、ファイナル等)変更可。
- エアクリナーおよびボックス、エレメントの改造・変更、
取り外しは可。
- ×チャンバー・マフラーの変更は不可。
- チューブレス化に伴い最低限のホイールへの加工・パーツ
の追加は可。

上記条項以外はM系クラス規則に準じます。

協賛各社



大会規則

1. 主催者の権限

- ・主催者は競技運営に関する全ての権限を有する。
- ・主催者は理由を明かすことなく参加を拒否する事ができる。
- ・主催者は大会秩序を乱す者、または乱す恐れのある者に対し開催当日でも参加拒否できる。
- ・主催者は参加者、同行者の肖像権及び参加車両の写真、映像、音声の権限を有する。また、第三者に使用許可に関する権限も有する。

2. 参加者の責任と義務

- ・参加者は、近畿スポーツランド公式エントリーページから申し込みをし、遅延なく参加費の支払い手続きを完了すること。
- ・参加者は、誓約書に自筆署名・捺印をした公式書類を選手受付時に提出すること。なお、参加者が18歳未満の未成年の場合、親権者の自筆署名・実印の押印・印鑑証明書の添付(3か月以内※コピー可)を不備なく提出すること。
- ・虚偽の申告をした者は判明次第、失格となる。
- ・参加者は本規則書、近畿スポーツランド規則を遵守することはもとより、参加者に同行するもの全員にも同様に遵守させる責務を負う。
- ・参加者及び同行者は主催者、オフィシャル、その他関係者の指示や決定に従うものとする。
- ・参加者及び同行者は主催者、オフィシャル、その他関係者、他の参加者、同行者に対して、非難、中傷、暴言を吐いてはならない。
※インターネット(SNS等)での非難・中傷も含む
- ・参加者及び同行者は各自の家族に誓約書の内容、競技に伴うリスクを充分説明し、理解を得ること。
- ・暴力団構成員、準構成員、関係者、または懲役刑を受けた者で、執行猶予期間の満了しない者刑法犯罪またはそれに類する犯罪で罰金刑以上に処せられた者。刑法犯罪で執行猶予期間が満了し、5年を経過しない者は参加、来場できない。また、チーム員、チーム関係者、ヘルパーその他名目の如何にかかわらず参加、来場、観戦できない。

3. 抗議

- ・抗議をすることができるのは参加者に限られ、書面によりその内容を具体的に記載し、抗議対象1件につき保証金10,000円を添え競技長あてに対象レース結果発表後30分以内に提出すること。審議の結果、当該抗議が認められる場合、または妥当な抗議であるが裁定が変わらない場合は返還されるが、抗議自体が妥当でないと競技長が判断した場合没収される。ただし、主催者側の判定や決定に関する抗議は受け付けない。

4. 罰則

- ・大会中、諸規則違反、良識に反する違反があった場合、罰則を課する。警告、順位降格、失格、出場停止、退場処分、今後一切の近畿スポーツランド入場停止等、主催者側で判断の上決定する。

5. 損害の補償

- ・大会中参加者及び同行者の死亡、傷害、車両(搬送車両含む)等の損害について、主催者及び全ての関係者は一切の責任を負わない。たとえそれが主催者、大会役員、関係者の過失によるものでも同様とする。
- ・各参加者が個人的に別途、死亡・傷害保険に加入する事を強く推奨する。

6. 傷害補償

補償内容

死亡2,000万円・後遺傷害3,000万円(最高)・入院4,000円(1日)・通院1,500円(1日)

※入院及び通院には日数制限があります。

※この保険は近畿スポーツランドが幹事となり、(財)スポーツ安全協会のスポーツ安全保険に団体加入するものです。

7. 大会の中止

- ・本大会は悪天候でも開催される。
※ただし、主催者が大会開催を困難と判断した場合中止する。例(記録的豪雨、積雪、台風、凍結、地震、その他の災害で開催が困難な場合やコース、設備の破損)
- ・大会中止の場合、原則として後日に順延され参加料は返還されない。また、急な天候の変化、重大な事故等の場合も競技が中断・中止される場合もある。この場合参加料は返還されない。
※後日の日程等により開催困難と判断された場合は、手数料を差し引き返還とする。
- ・決勝レースが行えなかった場合、予選結果をもって決勝リザルトとする場合がある。

競技開催中の規則

競技開催中は下記条項を参加者及び同行者は遵守する。

- ・ライダー及び関係者以外の走行中の本コース内の入場は絶対厳禁。(各参加者は同行者に充分説明する事)
- ・コース以外の場所(駐車場パドック等)でのウォーミングアップ走行禁止また、出場車両での場内移動は禁止。
- ・ピット内や車両整備の近く、ピットロード、ガソリンの近くではタバコを含み火気厳禁。またタバコのポイ捨ては厳禁。
- ・参加者は飲酒、薬物使用厳禁。前日の飲酒も控えめにすること。
- ・タイヤ、部品、粗大ゴミの場内投棄を禁ずる。(各自適法に処分すること)。その他のゴミもポイ捨て厳禁。
- ・駐車指定エリアの権限のない車両は指定駐車エリアに駐車してはならない。また駐車許可証のない車両も指定エリアに駐車する事ができない。
- ・各参加者の搬送車両は必要以上のスペースを取らないこと。同行者の車両は丘の上の駐車場に駐車し、パドックには駐車しないこと。主催者の権限により車両の移動を命じることがある。特にマイクロバス等の大型車両の場合主催者が駐車場所を指定する。
- ・幼児やペットはピット・ピットロード・パドックの進入を禁止する。その他の場所であっても必ず保護者が同行すること。

指定駐車場略図



ピット・駐車エリアについて

- 2026年度より、ピットを除く駐車場の選択希望順エリア分けを廃止します。
下記の図のようにAエリア・Bエリア・アスファルト舗装 丘の上 第1駐車場エリアは、有料にて土日2日間完全指定の駐車スペースになります。是非とも便利な有料指定駐車枠をご活用ください。※有料指定枠が埋まらなかった区画は、土曜日から解放されます。
※有料指定駐車区画については1ページ目をご覧ください。
- ピット使用权を獲得された方は、ピット裏・A・Bエリアには駐車できませんので、車両は丘の上に駐車してください。
- お電話やメールでの空き状況はお答えできません。
- バス(コスター)・トラック等の大型車両はご希望に添えない場合があります。
- 指定エリア内の場所取りは、大会前日の練習走行終了後からとし、それまでの場所取りは禁止です。置いたままのタイヤやイス、その他は、発見次第撤去させていただきます(撤去物の責任は負えません)。

- 駐車スペースは1エントリーにつき1台分となります。
- 駐車スペースに TENT を張られる場合、車両は丘の上の駐車場に駐車してください。ただし、車両の前・後に他の車両の邪魔にならず、移動が容易な小さなTENTは利用可能です(畳2畳分程度)。
なお、駐車スペースは一区画2.5m×5mです。
- ライダー以外(チーム員・他)の車両は丘の上の駐車場に駐車してください。
- チーム単位で大型TENTを張られる場合は、権限のあるエントリー数以上の駐車スペースを取らないでください(事前に主催者に申告してください)。
- 関係者・協賛者専用スペースには駐車しないでください。
- ピット裏の主催者の設置したコーンが置かれている場所は駐車禁止です。

